湖月抄

梅のえ

戊

二

杉井氏藏書

內閣文庫

梅枝　細　巻名以詞号之　河　巻名薫物合之後、奏かの
梅のをりて梅がえをうゑ、梅がえに付る事とうてまる
なり。細　源氏九歳正月のまき。孟　正月のまき

此巻は光源氏の十二歳の春のあて
まとして十二月にてとぢられ
たるなり。おぼろ〳〵へのけ
しやう　河同巻
あをぐ〳〵ぶ〳〵ぶ〳〵
みりのこと　孟此こと方。
えぶくいせ物がたりよ。叙爵
のまとは是は語りく漢
昭帝記なる文服をと
りとなり。河　冷泉院
春宮時應和三年二月
八日院の文服　花宴
の朱雀院の皇子とし
十三歳にて元服く六条日
のみぐ〳〵たにもとり。これは
冷泉院の二月の例を摸
きり
七月のつごりりまれで
此巻は三月十日なり。
なりてをりまとよりこと
りのあくせのみはをうゑ
大弐　細大宰の大弐は一任六
ケ年にてあるゝまれ

れりごのこと　源氏のはつ月こと
孟一段ゝゝ
まりてはるゝ　細今上より十三歳に
ゝ　花宴も此巻
つぐ〳〵ら　りつき
花宴つ
もう深ある此
けりとり　作ゝゝ
みの大弐のを　細新渡の香具夫
をつゝへのみはとりてやあんと花
しく二条院のはとりてやあんと花
のりれば　六条院へ
ゝふりよ。　香具はりまとあること
りのそうゝ　孟八月のうゝいのこと
そ。ちゝ　孟ゝちごのおとうどの母屋のこと
ゝ　唐物ゝゝ

あしぶれハ波ヶの巻よりる大紙にてハあらぐ〳〵しくさまざまなれども何なれども波ヶ義と
わるし。三光自筆ハ細字ハ書也。大紙ハ必潤色ハ用ハ波ヶ巻ぶ〳〵を
閑ヶ月。江帥匡房の御ゑやげハ大学寮の十哲圖とをくれさうく

ちゝ抱ちゝねるぶのくるぶ。細原鴛鴦鍬ハ〳〵おせ〳〵吋ぶ〳〵抱ぶ。原ハ縁。古俗の世世の
ぐめうく。ことゆく〳〵のくてまつわりけり。
あやひぐん。細ハ其抱くよ似合ゑやうに抱ぶ〳〵。今の世ハ抱ハ似ぶ。抱さ
海ぐ〳〵けん〳〵あてつぐぶせのて。細天武の巻。このさ
抱ハ新原の抱ぶ。細ハ香。
びのあやく〳〵ぶりのぶ。ハくよ結ぶて。うぐ
抱ハ香ぶりて。いぶ抱ぶ。女中方。
ハ音今のぶりぶ。ぶをまてれうぐ
よぐりせ結。あぶぶ。
せまくぶとうぶ。細巻上。巻名の月ぶ。とり抱ぶ
アのくくぶどせよぶ。細ハ。女中ぶ。
ぶぶ。ぶくいぶぶまよくてうぐよ

ぶ。ぶくぶ。何鐵臼香細。
搗者和供入鐵臼搗五百杵ぶ〳〵。山太平観記
ぶぶの孟。細ハ和ぶ。
ぶぶ〳〵ぶ。細仁明
天皇ぶ。ぶ抄ぶ。
何古卒ぶ大畧ぶ。
とあり。頗原ハ。
ぶぶと展轉。
ぶぶぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
とあり。ぶ抱ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。

[illegible]ぬべきなり。嘉和は仁明天皇の年号
し。三つのわかとつかは黒方と伽羅との二つ
にいりめのかつかの[illegible] 細 黒方伽羅し。不傳男とつかへ割禁するといそぐ深さつ
[illegible]つて 細 花もよ多し。不殺は女房の中とをる[illegible]みて
にはを[illegible]ひさをくるつそといえど晴のこと。花 敬出は
母屋と。梅壺に本の中の敬おとは東乃對の母屋。中とつかは母屋と東西の廂[illegible]
陸奥[illegible]中の敬おとは[illegible]
にたつ[illegible] 盃 兵九條を中よつ[illegible]
[illegible] 畧紀
八条式アマ 細 [illegible]
○黒方 沉 四兩 丁子 二兩 甲 一兩 薫陸 二兩 麝香 二分 薫 二分 丹松 二分 伴二方は故八条宮方
○侍從 沉 四兩 丁子 二兩 甲 一兩 麝香 二分 薫 二分 丹松 二分 伴二方は故八条宮方
花 八条式アマ 寛平廣釈也は仁明天皇の第五の女母は伊四位上源野温子参議貞主の女也。源氏の合
世[illegible]方と紫の方とは[illegible]
又兩種方は[illegible]
さ[illegible]て[illegible]の合[illegible]を[illegible]
[illegible]の[illegible] 細 [illegible]
[illegible]加減の[illegible]
人の[illegible]げ[illegible] 細 [illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]
盃 香[illegible]

花 [illegible]
西厨子 小皆八合あり。[illegible]
中二合は香[illegible]の皆。東
の厨子の[illegible]
義を[illegible]て入て。梅花等
の[illegible]の[illegible]
の中[illegible]
[illegible]は銀盤[illegible]用。[illegible]
[illegible]
細 [illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さて、おのさうぞくいまうらうらうぬぬぬぬぬぬ　西院のつぼね　光源の業の次よ、秋流への出花奇と書て、ものの名よりせしさうれうる　孟月紙のえよ　初ちく風流と　仰人のとがんうとん・源氏の秋流へのりうとえて　ものの秋流への　ゆえ流るんめとつくし　とえ、どうく西の方業　物の梅むようけてもいく　紙ゆて秋流よりひとの　のくし、物紙ちちちち　べりあ也しりんのと　がひる書こでもこりり　ちやりつくん　晩　ものえ　よくつくひしよりてと　孟まよ流之仰ものよ源　のくしものいくとくそ　ちくくふやありつくんを　ものよりつくんと

名仰くん　伝曲日本紀　紀ちくし幸のものくみてめく　しくれくて　西　それのえよいくくうとちひられん　のくちやんくとびつめど　えやありつくん　清月　やうよはをくちくさ　姫笑いとこ　ものもおう　笑ちちる　ちるんくて　紙ちくくく

細 中よりぞ一枝のもとみとられいすくてはいまらすとりふくれ
どもをみ御し師をくこそとれもくこそうぐ一ろさぐろうんと合やう匂し
白とうとう〜 抄 ろうつ文のもろうんみもも〜〜どやと早下し結ぶぐ〜〜 蕚物と
うくや和ろひていひろ〜どすぐれうう白ひどものやはこれい流ぐをここうる
下みりとれうるみて蕚奥一ろさづのいうこ〜〜みぐ〜ぐともわこうみとろ合せ蕚物
の一枝うくいかす 蕚久の一枝し御〜〜〜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月さし出めれバ　花上の紅
よ二月十日とあり。伊勢二
所神と云るお遠さ

菊人形　伊　菊人形の屋上に
細六条院の屋上に作り
拵たに家みもあり。屋上
のけのるよ布陣をを
薄そ菊人形とも。沈
下の者作りて

げぎん沙もてゲキ
細見糸にて記ゞ菱
をるけんこ　暖　雲乃
礼く　初天糸とい今日祝
こまりうこと交絡と
注してを人へ又もをる
花をみどまもけるもあり

梅ゝ枝ゆゝ
伊梅枝　催馬楽呂　私勘
入梅ゝ枝よるゆる雲を
うけてもれ一作表ケて
ゆけるも　いうと雲八人
アて二作下器

雲の　細　俗言雲の梅ゝえ
うゝえゝ　感ゝ
ゆゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　作さ
らでをんゝめる紅の
ゆうりよいをぐ　詠曲よ
やゆうれんとこ
ゆ代もへめゝ　細　花ゝ

ゝりて　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て高人も侍ぞうんとうるさうて、御ぞ召て高人ゆるさうして、なほ侍ぞ参りて
みるときまよ　細 紙屋あるをとこ、みるときに
人なれば、みるときまよ、そう、婦とおそれさ
人のまうつうんとうや
花 中の女の敷名
ほうてあげのるて
何ぞ裳の時、とあげ
らうぞんざーもうく
内侍ものうく、そのやくとつと
むうく　侍内侍は掌侍なる
るべし。必内侍の役なら
ぞ自然の役
うもこのつるでよ
侍従ゐ、然れば中宮、年に
おすべ流よまうませど
ぞ、ぞーかて流ぞうんあ
るく
るあげなるすぐさ
おゆゑ姫ぞ名ゐ神て裳
と云ゐ、いぞ今まで、いぞ式
の女の装束をぬ敷く
のうつく
のうのうれうあ　細 中宮の
行啓るどい姫代の例な
るべうとも、ふかよ馬ひ給
秋 枕草子

秋 枕草子

る。ぞうるるるうさまよ
血原のるるあげるぞーーーさ
迎うにーりて、中宮の出
る長ぞく

中宮の御
細 大方のよ
ざにあるるみ、ばれのるさ
極者を及ぞうく
侍ぞ、ぞるぬるうく
うるあるて出ぞうるも
うるうぞれおそて久ふいと

秋 枕草子

秋 枕草子

ぞ、ぞいうるるぞうくうとみまくうさ
ざりつるとうくうとくとりるるさせ給
よまん、ゆりくふれぬべくとのるひげ
御中宮のやくふるく
つるぞるのれけるひいとうくあぐやうつさ
細 原のるるまるに繁昌るるく
るよ、ゆりとうる海よあーーされけ
るひぐるものうーつどひまふるとわるひぐで
細 ぞんるく
うぬるるるるる海ぞのうるわりぐるよえうを
うぬるというぐーとるりーんぐるーうそま
うのゆーーせやるるーーとゆるるどーふの絵い
細 紫式部の筆
ひとつうるるーー絵けーうる所の紫式部よ
ちるさるよぐていとくーーゆりくうるさ紙
るるるーーつるる例のるどげるくまるどんも

表文の内之服　既朱雀院の内侍の中文より一冊の内きりの水尾殿可見

ひとの御ぐしをとて
孟母の中文をまゐらせ給へるに
ぜんとしるれば
砂の御ぐしは
とひたまふ
とは思萌
ものをまゐらせ給へる
をにしきの
れの中くれなゐの
孟氏たちの
紙は彼除く系図より
表文はひとめ
しあり一人
つぎくもとぞ
孟母の
にもたまふ
内わりてつぎくり
系をんと
巡りしまるを

かくしやとて
え服は
すくかり
ひまゝ
ど氏の
ばかくし
細系図より
たるぐ
すぐいお
いどまん
うさくの
えあぐ

参
髪
囲競
孟
梅
係のし
花還
孟
孟母の姫
巡り

係の巡りとて

孟母つぐし係氏の文表并係氏代々の書より女一
細系図の中より

孟母の姫
入内巡り

孟母の
係の巡り

くゐ氏の乃ふを
まゐたる
たたの
の女
の女御
ゐ
れは
ゐ

孟母つぐし係氏の文表并係氏代々の書より女一
細系図の中より

孟母の姫
入内巡り

孟母の
係の巡り

四月より
伊三月朔入太子宣旨陽明門
院万寿四年四月十二日入
太子宣年五

孟母
係氏
孟母
係氏
孟母
係氏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

流の両伯のこと　細勝月和歌うり。当世の人書く。巻のこと[illegible]

そ。今の世乃上ぞ（イニナシ）よかりけれど。あるかそぞ

出[illegible]ものどもいとあるさはあるものも

細勝月和歌　憶の歌流　細紫上こ

えと。巻紙とこそいとこそいとこそ[illegible]

ひとゆきこそ[illegible]　細紫上　細源氏物語の中へ

[illegible]　細源氏物語の[illegible]

[illegible]　細[illegible]

[illegible]のと。[illegible]

うんなはそどけるさりてこそ[illegible]

とて。[illegible]　紙巻物　[illegible]

[illegible]紙ひも[illegible]　細紫

[illegible]

[illegible]　細源氏物語の[illegible]

[illegible]

[illegible]　細不入来番

[illegible]　細一説に

[illegible]　細源氏物語の[illegible]

[illegible]　細紫上の兄弟

[illegible]　細[illegible]

[illegible]　細[illegible]

[illegible]　細[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孟原の手紙を見る人乃
感よ堪ぬ涙をながす
ぐ彼一白いとゝぬるゝ
とりく花哉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古万葉集　細　嵯峨天皇

のゝ中ゝ[illegible]の[illegible]奇を
撰して書[illegible]
万葉全部よりなりくら
らべ　花万葉集一部
七巻平城天皇詔侍臣撰
之見古今序又万葉抄
五巻一説貫之撰之一説
紀友雄五人撰也　古今序云
とゝふと文なよ云ゝ
ことゝゝこけゝ

古今和歌集

花　延喜代よ撰られゝ
集なれゝ宸筆もゝ
ゝよゝ[illegible]
ゝゝゝゝ
ゝゝこゝゝれゝゝ
ゝゝ

細　古ゝゝ平ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
よれゝの伯[illegible]
だゝゝよゝ
ゝゝ
集と[illegible]
ゝゝの古今和歌集
ゝゝとゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

女のこころをくるしく
[illegible]

細川政元勝の時の人なり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

曉夕雪の文のごとく

雲井屋のひくすたの

のこ[illegible]ばよ表[illegible]

[illegible]

中勢文

中勢文夕雪とひこま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の方ゝゝ奪れまつ
ゝ法とぐ行の宮しま
べきと節もまゝ乃
方とりのめ〻法ぐ分
あやゝしきるゝ

ゝゝりて去ぐゝきと
細々雪と世の人のあるや
とゝふ人 彩ちれぬ人や
人ゝしるゝとれど
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
盃ゝゝ世よるびゝくと、我と人ちれまふすぐゝきよ中務のれむとめよんをゝゝゝは
世よるびゝゝゝゝ
とゝゝとゝゝゝゝ 細 ゝ殺までいゝゝゝの紙乃ゝ
雪のゝよ不富ゝゝ 作 々雪のゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

実ゝ
ゝぶゝゝてゝれゝゝゝゝゝゝゝゝ
やせよるびゝくゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
細巻くの詩の句ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ